

# なすからすやま 社協だより

11月  
No.177

## 長年の活動に、感謝を込めて

### ～ 配食サービス事業感謝式 ～



約30年にわたり、地域の一人暮らし高齢者等に手作りのお弁当を配達し、栄養と元気を届ける活動をしていた「配食サービス事業」が令和2年度をもちまして終了しました。それを受け、長年、配食サービスボランティアとして、事業を支えていただきましたボランティアの皆様（令和2年度最終時のボランティア57名）に感謝の意を込めて、10月8日に「配食サービス事業感謝式」を行いました。栄養満点な心温まる手作りのお弁当と共に、言葉を交わし、お弁当を手渡ししていただいたことは、利用者や地域住民のふれあいを深め、孤独感の解消や安否確認等、地域に大きな役割を果たしていただきました。

烏山地区会長の横山美智子さんからは、「地区の高齢者は地区で」をスローガンに、各地区と一致団結して、活動ができ、有意義な時間が過ごせた」とお話をいただきました。

赤い羽根共同募金の配分事業として、長年、地域の皆様に支えていただき、誠にありがとうございました。

「心」でつながる 災害とボランティア講座を開催して



会（以下「社協」）においても、地域福祉を推進する団体として災害時には災害ボランティアセンターの運営などを担っています。近年では被災者や被災地域の支援に社協が寄り添う体制も制度化され、長期的・多面的な支援が求められています。

本市においても2年前の台風19号被害で災害ボランティアセンター等の運営を行い、延べ688人のボランティアや市、

本市に甚大な被害をもたらした令和元年東日本台風（台風19号）から約2年が経過しました。大規模な災害が頻発する昨今、私たちの暮らしにおいて普段から災害への備えをしておくことは不可欠になっています。

国や自治体などが担う役割も整備され、自助、共助（互助）、公助の考え方に基づき、地域と連携して平時から防災や減災につながるような各種取り組みも進んできているところです。社会福祉協議

NPO等関係機関の皆さんと共に活動しました。

10月18日、それら活動の振り返りを通して、平時からの心構えやこれからできることを考えることを目的に、「心」でつながる災害とボランティア講座が、本会とボランティアセンター運営委員会により開催され、市民や関係者約40人が参加し、講話とパネルディスカッションが行われました。

講話では、全国各地の防災・減災や被災地支援活動を



行つたオフィス園崎の園崎秀治さんから、災害時のボランティアや地域が果たす役割を踏まえ、平時からの幅広い住民同士の関係づくりと意識醸成が一番大切であるなどを学びました。パネルディスカッションでは、災害ボランティアチーム龍J-Nメンバー栗野義明さん、ボランティア団体「えんやこくら」代表金枝明子さん、NPO法人のうさぎくらぶ理事長 矢口和美さんにご参加いただき、災害ボランティアとして活動に参加したきっかけや大変だったこと、良かったこと、これから必要なことなどについての振り返りを行いました。

普段のつながりがきつかけとなつて参加し、立場や特技を活かした活動ができたことなど共通する点が分かりました。参加者アンケートからも高い理解度が得られ、具体的には「普段から地域の方々とつながっておくことの大切さを再認識でき、顔が見える関係をつくっていききたい」や、「パネラーの方々の体験談をもとに、自分なりにできることを備えていきたい」、「市民みんなに関係することであ

「備えあれば憂いなしだね」



10月5日、本会では職員の方の防災意識向上・災害対応についての共通理解を図ることを目的に、災害対応マニュアル訓練を行いました。

り、より多く参加を呼び掛けていくことが必要だ」、など多くの気づきや今後に向けたご提案をいただくことができました。今回いただいたご意見も踏まえ、今後も自治会や民生委員児童委員、ボランティア、関係機関・団体の皆さま、商工会青年部、市などとの「連携」のもと、活動を前進させていきたいので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

本会では、令和元年に発生し甚大な被害を受けた台風19号での経験を活かすため、災害対応マニュアルを策定しました。ハンドブック版も作成し、平時の備えや災害状況に応じた支援体制、対応方法について確認・意見交換をしました。

参加者からは、書類等の保管先や連絡体制等について具体的な意見が出され、共通理解を深めると共に今後に向けた課題を把握することができました。

今後とも「備えあれば憂いなしだね」を合言葉に継続して体制強化に努めて参ります。

## 支え合いの地域づくりを目指して

～元田町健康サークルの活動～



みんなで談笑。笑顔が絶えません

### 【活動紹介】

元田町健康サークル

元田町健康サークルは、平成24年9月14日に発足。

元田町自治会館を会場に、毎月4～5回開催しており、10名程、参加しています。

主な内容としては、健康体操、手芸、カラオケ、昔懐かしい遊び等、参加者が飽きないよう工夫しています。

また、サークル活動に欠席をしている人に対し、地域とのつながりがきれないよう、

毎月のサークル予定表を配布しています。

代表の西原和子さんは、「前の東京五輪が開催された時期に地域のママさんバレーと一緒に汗を流した仲間とサークルを作りました。いかに人生を楽しく過ごすかを考えながら、皆さんが気軽に参加できる内容で活動しています。『楽しく・笑顔で・目指せ100歳！』がモットーです！」と、話していました。



号令に合わせて、右へ～左へ～



今は元田式ポッチャに夢中です

### こんにちは民生児童委員です

鳥山地区 堀江 功一

### 民生委員活動と人権

人権とは、誰もが生まれながらにもっている幸せに生きてくための権利であり、侵害されることがあってはなりません。しかし、社会には虐待

や差別、誹謗中傷など様々な人権課題が存在しています。私たちは人権課題を自分の事として考え、理解しなければなりません。

民生委員法第15条は、「民生委員は、その職務を遂行するに当たっては、個人の人格を 尊重し、その身上に関する秘密を守り、人種、信条、性別、社会的身分又は門地によって、差別的又は優先的な取扱をすることなく、且つ、その処理は、実情に即して合理的にこれを行わなければならない。」と定めています。

私たち民生委員は、地域の身近な相談相手として、常に住民の立場に立った相談・支援活動が求められています。地域住民や相談者が直面する困りごとを、より一層多角的に捉えるためにも、なるべく最新の人権課題を把握し、適切な配慮のもとでの委員活動を心がける、としています。

### 法務省の啓発活動強調事項

法務省の人権擁護機関は、人権を尊重することの大切さについて考えるために、『誰か』のこと、じゃない。』をキャッチコピーに掲げ、17

の人権啓発活動を展開しています。

- ① 女性の人権を守ろう
- ② 子どもの人権を守ろう
- ③ 高齢者の人権を守ろう
- ④ 障害を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑤ 部落差別（同和問題）を解消しよう
- ⑥ アイヌの人々に対する偏見や差別をなくそう
- ⑦ 外国人の人権を尊重しよう
- ⑧ 感染症に関連する偏見や差別をなくそう
- ⑨ ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別をなくそう
- ⑩ 刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくそう
- ⑪ 犯罪被害者とその家族の人権に配慮しよう
- ⑫ インターネットによる人権侵害をなくそう
- ⑬ 北朝鮮当局による人権侵害問題に対する認識を深めよう
- ⑭ ホームレスに対する偏見や差別をなくそう
- ⑮ 性的指向及び性自認（性同一性）を理由とする偏見や差別をなくそう
- ⑯ 人身取引をなくそう
- ⑰ 東日本大地震に起因する偏見や差別をなくそう

# ボランティアセンターだより

## ボランティアセンター貸出物品

那須烏山市ボランティアセンターでは、地域活動支援として、市内で活動する団体に、外用機やポッチャなどの物品貸出を行っています。

使い方の説明も含め、市内に楽しい活動が増えるよう一緒に考えていきたいと思っておりますので、いつでもご相談ください。

なお、貸出物品一覧は、社協窓口で配布しています。

- 貸出対象者 ボランティアセンター登録団体・市内福祉施設等、市内で活動する団体
- 貸出期間 最長で1ヶ月



ボランティア関係の情報がありましたら、ぜひお寄せください。お待ちしております！！

問合せ先 市社会福祉協議会（ボランティア担当：大森） ☎ 8 4 - 1 2 9 4

心配ごと相談 日常生活上のあらゆる心配ごとに応じます！	
場 所	期 日
南那須公民館第1会議室 (時間9:00~12:00)	12月15日(水) (行政・人権相談併催)
問合せ 本所(田野倉) ☎88-7881	1月19日(水) (行政・人権・県民相談併催)
社協烏山支所(初音) (時間9:00~12:00)	12月1日(水) (行政・人権相談併催)
☎84-1294	1月5日(水) (行政・人権相談併催)

協力事業所と受注作業 (8・9月分)	
すずらん ☎ 88-0840	あすなる ☎ 82-3141
丸星食品(株) 切干大根袋詰め	(有)大森紙器 箱折り
(株)シオダ ピン取り出し	エム・シー・アイ(株) 自動車部品選別等
(有)菊地製作所	(有)坂本製作所 自動車部品選別等
(有)菊地製作所	(有)菊地製作所 ゴーグルケース等
(有)三森製作所	(株)三森製作所 布切り

寄 付 (敬称略)	
8月1日~9月30日	
社会福祉振興基金	
下境S	8,717円



福祉サービス利用状況 (9月末現在)	
介護保険サービス	
ホームヘルプサービス	129件
ケアプラン作成	157件
介護予防ケアプラン作成	30件
介護保険以外のサービス	
障害者ホームヘルプ	4件
児童発達支援事業契約数	22件
放課後等デイサービス契約数	38件
障害児相談支援契約	97件
あすてらすサービス契約数	23件
法人後見	10件

アルミ缶 (単位:個) (敬称略) (8月1日~9月30日)		
すずらん ☎ 88-0840	あすなる ☎ 82-3141	
中山 寛行	850	相澤クリーニング 450
大野 伯恵	60	あいさん家 600
野口 節	580	青木 博 160
吉田 実	224	荒井 孝一 800
高野 英知	630	葉野 義明 750
川上 智恵子	740	海野 篤史 150
平山 かつとし	400	漆原 義孝 600
(有)安藤家具	800	絵本喫茶ばたぼん 1,000
仲山理容店	200	大桶中・下協力者 2,250
佐藤 孝夫	700	大島 靖久 150
中山 功	300	大谷 修一 160
露久保 章	600	大貫 保 150
露久保 英司	200	小川床屋 300
JA女性会三箇支部	400	小野 幸夫 460
小池 つねお	130	小輪 邦男 150
横山 泰平	300	神長上自治会協力者 150
渡辺 葵大	535	上境上平協力者 530
佐藤 隆	400	釜銀 1,010
塚原 喜一	260	川上 玲子 550
吉川 次雄	800	国井 新一 740
愛和苑	1,000	敬愛荘 1,600
(株)アヤラ産業	600	K.D. CREW 150
(株)矢崎部品	1,728	小泉 徳男 380
(株)日本技研	160	小口 義子 150
(株)東北化工	1,100	後藤 哲史 300
シオダ	900	五味潤 日出男 830
丸星食品(株)	500	小森 キヨ 760
志島上自治会有志	1,200	坂田屋商店 480
大桶上自治会有志	4,750	澤村 実 530
大桶中自治会有志	700	澤村 幸男 230
ペット園那須烏山	195	下境尼寺組協力者 450
上川井匿名	250	JAなす南 80
桑川 康志朗	365	下境上自治会協力者 2,380
植村 篤子	371	下境西組協力者 700
高瀬 正彦	2,000	(株)小規模多機能ホームなごみ 2,400
鈴木 喜代子	300	白木屋 480
桜井商店	200	関根 信行 1,210
		高橋 孝雄 80
		高橋 任 1,500
		玉ちゃん餃子 450
		中央協力者 1,840
		東原 正記 150
		栃木県庁南那須庁舎 610
		仲沢 瞳 400
		中村商店 280
		中山集落有志一同 6,580
		那須烏山商工会 960
		生魚商店 230
		成瀬 一郎 600
		沼田 晴彦 450
		根本 章 460
		野上 明光 450
		野上のみつちゃん 450
		連見自動車 690
		パチンコAPP 600
		菱沼 裕嗣 300
		富士山苑 2,750
		湊 万理子 760
		山あげそば店 80
		山村 誠一 310
		山口 俊一 530
		横山農機(有) 150
		吉沢 富夫 1,990
		和智 祐一 300
		ワンステップ那須烏山 750
	(合計 25,428個)	(合計 49,450個)

社会福祉協議会は、皆さんの「心」に支えられて活動しています。ご理解とご協力をお願いします。